

全体目標

がんによる死亡者の減少
(75歳未満の年齢調整死亡率の20%減少)

すべてのがん患者及びその家族の苦痛の
軽減並びに療養生活の質の維持向上

がんになってからも安心して暮らせる社会の構築

部会が
担当する
分野の
課題と目
標

【目標】がん患者さんやその家族ががん相談を希望すれば、いつでもどこでも質の高いがん情報の提供や相談が受けられ、よりよい治療法及び療養場所を選択することができる。

中期目標:2015年3月までに県民の50%が相談窓口を知っていて、その8割ががんの悩みを解決でき、相談窓口での対応に満足している。

指標: ①相談窓口認知度、②患者満足度
測定方法:患者満足度調査、拠点・支援病院がん相談件数の合算、分析

最終目標:2018年3月までに県民の80%が相談窓口を知っていてその8割ががんの悩みを解決でき、質の揃ったがん相談員が拠点病院、支援病院に配置されている。

指標: ①相談窓口認知度、②患者満足度
測定方法:患者満足度調査、拠点・支援病院がん相談件数の合算、分析

施策
毎の
アウト
カム
目標

【アウトカム1】

2015年3月までに県民全体の50%が相談できる場を知っていて、希望した時にいつでも利用できる。

【アウトカム2】

相談員間で質の揃った対応が可能となり、その地域に不足している資源や課題が明らかになる。

【アウトカム3】

インフォームド・コンセントが行われる体制と、患者自らが治療内容や治療法を確認し、選択できる環境が整備される。

【アウトカム】

施策
毎の
アウト
プット
目標

【アウトプット1】

2015年9月までに配布後の評価を行い、冊子の更新を検討する。

【アウトプット2】

2016年3月までに拠点病院共催で相談支援センターの広報活動を1回以上実施する。

【アウトプット3】

ピアサポート患者会等と連携し、患者サロンのネットワークを支援する

【アウトプット4】

2014年9月までに予備調査(相談センター認知度)を終了する。2015年3月までに結果を分析し、満足度調査表を作成する。

【アウトプット5】

共通のがん相談集計シートを導入し、定期的に部会報告を行う。がん相談支援に関するPDCAサイクルについて検討する。

【アウトプット6】

2016年3月までに各拠点病院主催で年3回以上実施し、する。

【アウトプット7】

2014年作成の「小児がんマニュアル」の配布後の検討を行う

【アウトプット8】

毎年演題を出し、部会委員が発表する。また、学会にて最新の情報を収集する。

【アウトプット9】

2014年実施のセカンドオピニオンに関するアンケート結果を分析し、2016年3月までに結果を公開する。

【アウトプット10】

毎年セカンドオピニオンリストを更新し、協議会ホームページに掲載する。

【アウトプット11】

就労支援に関する事例に
関する事例に
関して、社会
保険労務士
等との研修会
意見公開会
を1回以上開
催する。

施策
アクション
プラン

【施策1】

患者必携「地域の療養情報」第5版作成後の調査と今後の対策を行う。

【施策2】

相談支援センターに関するチラシ配布やラジオ番組の参画等、広報活動を行う。

【施策3】

働く世代や小児がん患者への支援の充実を図る。

【施策4】

患者家族満足度調査を実施し、分析結果の公開と相談支援に活用する。

【施策5】

県内のがん相談の傾向を計測し、部会計画の改定等へ活用する。

【施策6】

がん相談員を対象とした研修会を開催する。

【施策7】

がん相談支援センターの相談マニュアルを作成する。

【施策8】

相談支援部会の活動実績を学会等で報告する。

【施策9】

セカンドオピニオンの普及と活用を推進する。

【施策10】

2015年9月までに県内のがん診療を行っている病院のセカンドオピニオンリストを作成する。

【施策11】

がん患者の就労支援の向上をめざし、産業保健関連職種との連携の推進。

導き出された
対策
項目

【対策項目1】

相談窓口の機能、役割について
の情報を患者、市民に知らせる

【対策項目2】

相談支援の充実と質の向上

【対策項目3】

運営資源の充実化

1. 患者必携「がんサポートハンドブック第5(2014年度)版」等の現状を調査し、今後の対策に活用する。

①患者必携「地域の療養情報」第5(2014年度)版の評価アンケート調査を実施する

項目		数	単価	支出予定金額	備考
郵送費	医療関係施設100施設	100	184	18,400	返信用封筒切手代含む (がん診療を行っている病院など)
郵送費	医療関係以外の施設200施設	200	184	36,800	返信用封筒切手代含む (薬局、市町村役場、学校、図書館など)
計				55,200	

②患者必携「地域の療養情報」第6版5(2015年度)を作成する

2. 相談支援センターに関するチラシ配布、またはラジオ番組への参加等、広報活動を行う。

項目		数	単価	支出予定金額	備考
郵送費	68施設	68	92	6,256	切手代(がん診療を行っている医療機関)
講師謝金	相談支援部会委員	15,000	3	45,000	
交通費		2,000	4	8,000	事務方打ち合わせ分も含む
計				59,256	

3. ピアサポーター等と連携し、患者サロンのネットワークづくりを支援する。

項目	単価	人数	回数	金額	備考
食糧費(飲み物代)	150	10	3	4,500	
講師謝金(学外者)	15,000	2	1	30,000	各研修先病院内(謝金1時間当たり)15,000
県内交通費	2,000	6	3	36,000	
会場費	22,000		1	22,000	
計				92,500	

4. 各医療機関などにおいて、患者家族満足度調査等実施し、相談者等からのフィードバックの収集と分析結果を公開し、相談支援に活用する。

項目		数	単価	支出予定金額	備考
郵送費	医療関係施設100施設	100	184	18,400	返信用封筒切手代含む (がん診療を行っている病院、薬局など)
計				18,400	

6. 各拠点病院主催のがん相談実務者研修会を開催し、医療従事者等の技術向上を図るとともに相談支援センターの質の向上を図る。

項目		回数/人数	単価	支出予定金額	備考
会場費	沖縄県医師会館	3回	5,000	15,000	
旅費	国立がんセンター(東京)より講師派遣	1回	101,000 (2泊3日)	101,000	航空券73,600(那覇～東京往復) 日当6,600/宿泊20,800
講師謝金(学外者)	1時間	3名	15,000	45,000	
交通費(県内)		6回	2,000	12,000	(事務方打ち合わせ2人×2回分含む)
計				173,000	

8. ハンドブックの作成・普及活動や沖縄県のがん相談の傾向など部会活動について学会報告を行うとともに、学会にて最新の情報を収集する

項目	場所	人数	単価	支出予定金額	備考
旅費	(東京)	1名/2回	88,400 (1泊2日)	176,800	航空券73,600(東京～那覇往復) 日当4,400/宿泊10,400
計				176,800	

9. セカンドオピニオンの現状把握と普及の推進方を検討するために、アンケート調査を行い、結果を協議会ホームページで公開する。

項目		数	単価	支出予定金額	備考
郵送費	33施設	33	184	6,072	返信用封筒切手代含む (がん診療を行っている医療機関)
計				6,072	

10. セカンドオピニオンの提示が可能な医師(セカンドオピニオンリスト)を病院別に作成し、協議会ホームページに掲載する。
(毎年11月に更新する)

項目		数	単価	支出予定金額	備考
郵送費	33施設	33	184	6,072	返信用封筒切手代含む (がん診療を行っている医療機関)
計				6,072	

11. 産業保健関係職種との連携を図るために、意見交換会を行う。

項目		回数/人数	単価	支出予定金額	備考
会場費		1回	22,000	22,000	
旅費	国立がんセンター(東京) より講師派遣	1回	101,000 (2泊3日)	101,000	航空券73,600(那覇～東京往復) 日当6,600/宿泊20,800
講師謝金(学外者)	1時間	3名	15,000	45,000	各研修先病院内(謝金1時間当たり)15,000
交通費(県内)		6回	2,000	12,000	(事務方打ち合わせ2人×2回分含む)
計				180,000	

合計 767,300

*日 当・・・1日当たり2,200円(国立大学法人琉球大学旅費支給規定参考)

*宿泊料・・・1夜当たり10,400円(国立大学法人琉球大学旅費支給規定参考)

*謝金(学外者)・・・1時間 15,000円(国立大学法人琉球大学諸謝金支給基準単価表参考)

1. 琉球大学附属病院支出予定額(地域拠点病院) 合計 719,300

1. 患者必携「がんサポートハンドブック第5(2014年度)版」等の現状を調査し、今後の対策に活用する。

①患者必携「地域の療養情報第5(2014年度)版」の評価アンケート調査を実施する

項目		数	単価	支出予定金額	備考
郵送費	医療関係施設100施設	100	184	18,400	返信用封筒切手代含む (がん診療を行っている病院など)
郵送費	医療関係以外の施設200施設	200	184	36,800	返信用封筒切手代含む (薬局、市町村役場、学校、図書館など)
計				55,200	

②患者必携「地域の療養情報」第6(2015年度)版を作成する

2. 相談支援センターに関するチラシ配布、またはラジオ番組への参加等、広報活動を行う。

項目		数	単価	支出予定金額	備考
郵送費	68施設	68	92	6,256	切手代(がん診療を行っている医療機関)
講師謝金	相談支援部会委員	15,000	3	45,000	
交通費		2,000	4	8,000	事務方打ち合わせ分も含む
計				59,256	

3. ピアサポーター等と連携し、小児がんサバイバーのネットワークづくりを支援する。

項目	単価	人数	回数	金額	備考
食糧費(飲み物代)	150	10	3	4,500	
講師謝金(学外者)	15,000	2	1	30,000	各研修先病院内(1時間当たり)15,000
県内交通費	2,000	6	3	36,000	
会場費	22,000		1	22,000	
計				92,500	

4. 患者家族満足度調査等実施し、相談者等からのフィードバックの収集と分析結果を公開し、相談支援に活用する。

項目		数	単価	支出予定金額	備考
郵送費	医療関係施設100施設	100	184	18,400	返信用封筒切手代含む (がん診療を行っている病院、薬局など)
計				18,400	

6. 各拠点病院王惟のかん相談実務者研修会を開催し、医療従事者等の技術向上を図るとともに相談支援センターの質の向上を図る。

項目		回数/人数	単価	支出予定金額	備考
会場費	沖縄県医師会館	1回	5,000	5,000	
旅費	国立がんセンター(東京)より講師派遣	1回	101,000 (2泊3日)	101,000	航空券73,600(那覇~東京往復) 日当6,600/宿泊20,800
講師謝金(学外者)	1時間	1名	15,000	15,000	
交通費(県内)		2名	2,000	4,000	(事務方打ち合わせ分含む)
計				125,000	

8. ハンドブックの作成・普及活動や沖縄県のがん相談の傾向など部会活動について学会報告を行うとともに、学会にて最新の情報を収集する。

項目	場所	人数	単価	支出予定金額	備考
旅費	(東京)	1名/2回	88,400 (1泊2日)	176,800	航空券73,600(東京~那覇往復) 日当4,400/宿泊10,400
計				176,800	

9. セカンドオピニオンの現状把握と普及の推進方策を検討するために、アンケート調査を行い、結果を協議会ホームページで公開する。

項目		数	単価	支出予定金額	備考
郵送費	33施設	33	184	6,072	返信用封筒切手代含む (がん診療を行っている医療機関)
計				6,072	

10. セカンドオピニオンの提示が可能な医師(セカンドオピニオンリスト)を病院別に作成し、協議会ホームページに掲載する。

(毎年11月に更新する)

項目		数	単価	支出予定金額	備考
郵送費	33施設	33	184	6,072	返信用封筒切手代含む (がん診療を行っている医療機関)
計				6,072	

11. 産業保健関係職種との連携を図るために、意見交換会を行う。

項目		回数/人数	単価	支出予定金額	備考
会場費		1回	22,000	22,000	
旅費	国立がんセンター(東京) より講師派遣	1回	101,000 (2泊3日)	101,000	航空券73,600(那覇~東京往復) 日当6,600/宿泊20,800
講師謝金(学外者)	1時間	3名	15,000	45,000	各研修先病院内(謝金1時間当たり)15,000
交通費(県内)		6回	2,000	12,000	(事務方打ち合わせ2人×2回分含む)
計				180,000	

2. 那覇市立病院支出予定額(地域拠点病院) 合計 24,000

6. 各拠点病院主催のかん相談実務者研修会を開催し、医療従事者等の技術向上を図るとともに相談支援センターの質の向上を図る。

項目		回数/人数	単価	支出予定金額	備考
会場費	沖縄県医師会館	1回	5,000	5,000	
講師謝金(学外者)	1時間	1名	15,000	15,000	
交通費(県内)		2名	2,000	4,000	(事務方打ち合わせ分含む)
計				24,000	

3. 県立中部病院支出予定額(地域拠点病院) 合計 24,000

6. 各拠点病院主催のかん相談実務者研修会を開催し、医療従事者等の技術向上を図るとともに相談支援センターの質の向上を図る。

項目		回数/人数	単価	支出予定金額	備考
会場費	沖縄県医師会館	1回	5,000	5,000	
講師謝金(学外者)	1時間	1名	15,000	15,000	
交通費(県内)		2名	2,000	4,000	(事務方打ち合わせ分含む)
計				24,000	

4. 北部地区医師会支出予定額(支援病院) 合計 0

5. 県立宮古病院支出予定額(支援病院) 合計 0

6. 県立八重山病院支出予定額(支援病院)

合計 0

総額 767,300

*日 当・・・1日当たり2,200円(国立大学法人琉球大学旅費支給規定参考)

*宿泊料・・・1夜当たり10,400円(国立大学法人琉球大学旅費支給規定参考)

*謝金(学外者)・・・1時間 15,000円(国立大学法人琉球大学諸謝金支給基準単価表参考)